

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和6年度)

事業計画調査（目的設定、中間計画、事後計画）				（計画年度：令和6年度）		
政策	4 未来創造・地域社会戦略					
目指す姿	4 変革する時代に対応した地域社会の構築					
施策の方向性	② 地域住民が主体となった地域コミュニティづくり					
事業名	全国市町村長サミット開催・運営事業			事業年度	R7	年度～
					R7	年度
部局名	あきた未来創造部		課室名	あきた未来戦略課		
チーム名	企画チーム					

1 事業実施の背景及び目的

「全国市町村長サミット」は、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化施策の一層の発展・普及を図ることを目的に毎年開催されており、令和7年度は本県で開催する。

2 事業概要及び財源

(単位: 千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	全国市町村長サミット開催・運営事業	本サミットは、総務省との共催により開催し、開催県の主な役割として、付帯設備を含む会場、会場までのシャトルバス、手話通訳・要約筆記等を手配する。	1,625		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	1,625	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			1,625	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

本サミットを通じた全国市町村の地域活性化等を示す定量的な指標がないため。また、開催地は全国持ち回りのため、参加者数や参加自治体数に関する指標設定もそぐわない。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

地域力強化に向けた施策等をテーマとしたパネルディスカッション等を行うことにより、全国各地の優良事例を共有でき、参加市町村における地域活性化施策の発展が期待できる。

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和6年度)

政策	4 未来創造・地域社会戦略					
目指す姿	2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現					
施策の方向性	④ 安心して子育てできる体制の充実					
事業名	あきたこどもまんなか推進事業			事業年度	R7	年度～ 年度
部局名	あきた未来創造部		課室名	次世代・女性活躍支援課		
チーム名	子育て支援チーム					

1 事業実施の背景及び目的

子ども・若者の基本的人権の保障等を定めたこども基本法が令和5年4月1日に施行され、「秋田県こども計画」を今年度に策定することとなっており、子どもや子育て当事者のみならず地域社会全体に「こどもまんなか社会」を広く周知するとともに意識醸成を図っていく。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	こどもの権利啓発事業	計画の周知及びこども・若者が権利の主体であることの意識醸成を図るため、「こどもまんなかアクションリレーションポジウム」inあきたを開催する。	2,200		
2	あきた子育て応援アンバサダー事業	「あきた子育て応援アンバサダー」を任命し、県公式アカウント等による情報発信を行うことで、子育てに前向きな意識を醸成する。	3,548		
3	こどもと一緒に遊び場を考えようプロジェクト	こどもや若者、子育て当事者の意見を踏まえ、こどもの遊び場や若者の拠点のあり方等について、検討を行い、今後の方向性を示す。	3,000		
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	8,748	0	0
国庫補助金		こども政策推進事業委託金、地域少子化対策重点推進交付金	2,874		
県債					
その他					
一般財源			5,874	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	秋田県公式Instagramアカウント「いっしょにこそだてあきた」のフォロワー数(人)									
指標式	県が運用する子育てアカウント「いっしょにこそだてあきた」のフォロワー数の実数による									
出典	次世代・女性活躍支援課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a							5,000	7,000	9,000	10,000
実績b										
b/a							0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和6年度)

事業計画調査（目的設定、中間計画、事後計画）				（計画年度：令和6年度）			
政策	4 未来創造・地域社会戦略						
目指す姿	4 変革する時代に対応した地域社会の構築						
施策の方向性	② 地域住民が主体となった地域コミュニティづくり						
事業名	時代の環境変化に対応した地域運営組織等応援事業				事業年度	R7	年度～ 年度
						R9	
部局名	あきた未来創造部	課室名	地域づくり推進課				
チーム名	元気ムラ支援チーム						

1 事業実施の背景及び目的

高齢化や人口減少が進む中においても、持続可能な地域コミュニティを形成するため、地域住民の参加と多様な主体との協働による地域運営組織の形成又は機能強化を促進するとともに、住民主体の話し合いを手段としながら、若い世代や女性など多様な人材の発掘や担い手の育成などを進める。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	未来をつくるロカジョサークル応援事業	集落等における地域活動について、女性の参画から生まれる新たな活動やネットワークづくりを支援する。	2,773		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	2,773	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			2,773	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	女性による新たな地域活動への参加者数(人)【業績指標】									
指標式	ロカジョサークル(交流会・実践活動)参加者数									
出典	地域づくり推進課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								20	20	20
実績b							23			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)